

2012年3月期第2四半期 連結決算説明会



2011年12月8日



株式会社 シード

証券コード 7743
(大証 ジャスダック市場)

《目次》

■第2四半期決算のポイント……1

■第2四半期決算概要……2

■公表値との差異について……3

■売上高の状況……4

■利益増減分析……5

■財務状況推移……6

■キャッシュ・フロー推移……7

■コンタクトレンズ市場概要……8

■市場規模推移・予測……9

■2012年3月期通期見通しのポイント……12

■通期見通し:概要……13

■通期見通し分析:売上高……14

■通期見通し分析:利益増減……15

■2011年3月期重点施策の進捗……16

■調査中の輸出対象国……17

■長期借入金・社債について……18

■財務指標の推移……19

[参考資料]

■会社概要……20

■プロダクト紹介……21

■連結子会社……23



※連結数値でのご説明となります

《第2四半期決算のポイント》

- コンタクト、特に1日使い捨てタイプで増収もケア用品が販売競争激化で苦戦し、売上高は微増の1.6%増
- ワンデーピュアを中心とした製造原価の低減、および円高に伴う仕入原価低下等で各利益で増益
- キャッシュ・フローは、設備投資や社債償還等により対前年同期支出増（現金同等物△296百万円）
- 金融債務の減少続く・自己資本比率約40%迄回復

《第2四半期決算概要》

金額単位：百万円 百万円未満切捨て

	2010年9月期	2011年9月期	前期比較		参考 2011年3月期
売上高	5,939	6,033	93	1.6%	11,809
粗利益	2,566	2,648	81	3.2%	5,239
(粗利率)	43.2%	43.9%	0.7%		44.4%
販管費	2,541	2,523	△ 17	△ 0.7%	5,020
営業利益	25	124	99	389.8%	218
(営業利益率)	0.4%	2.1%	—		1.9%
経常利益	2	94	91	— %	164
当期純利益	41	113	72	171.8%	114

《公表値との差異について》

金額単位: 百万円 百万円未満切捨て

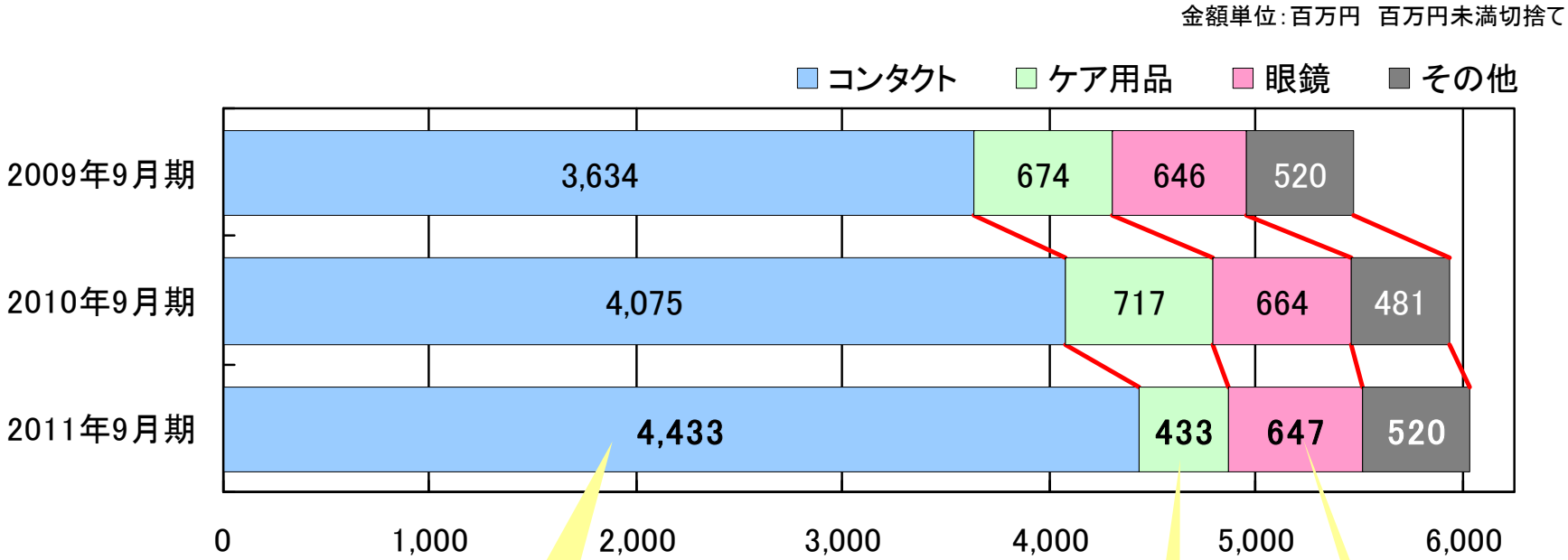
	2011.5.16付 公表数値	2011年9月期	差異
売上高	6,000	6,033	33
営業利益	50	124	74
(営業利益率)	0.8%	2.1%	1.3%
経常利益	20	94	74
当期純利益	10	113	103

1日使い捨てタイプが計画比約
18%増もケア用品が約30%減

製造原価の低減や円高に伴う
仕入原価低下により粗利益が
約100百万円 増加

店舗売却益31百万円発生

《売上高の状況》



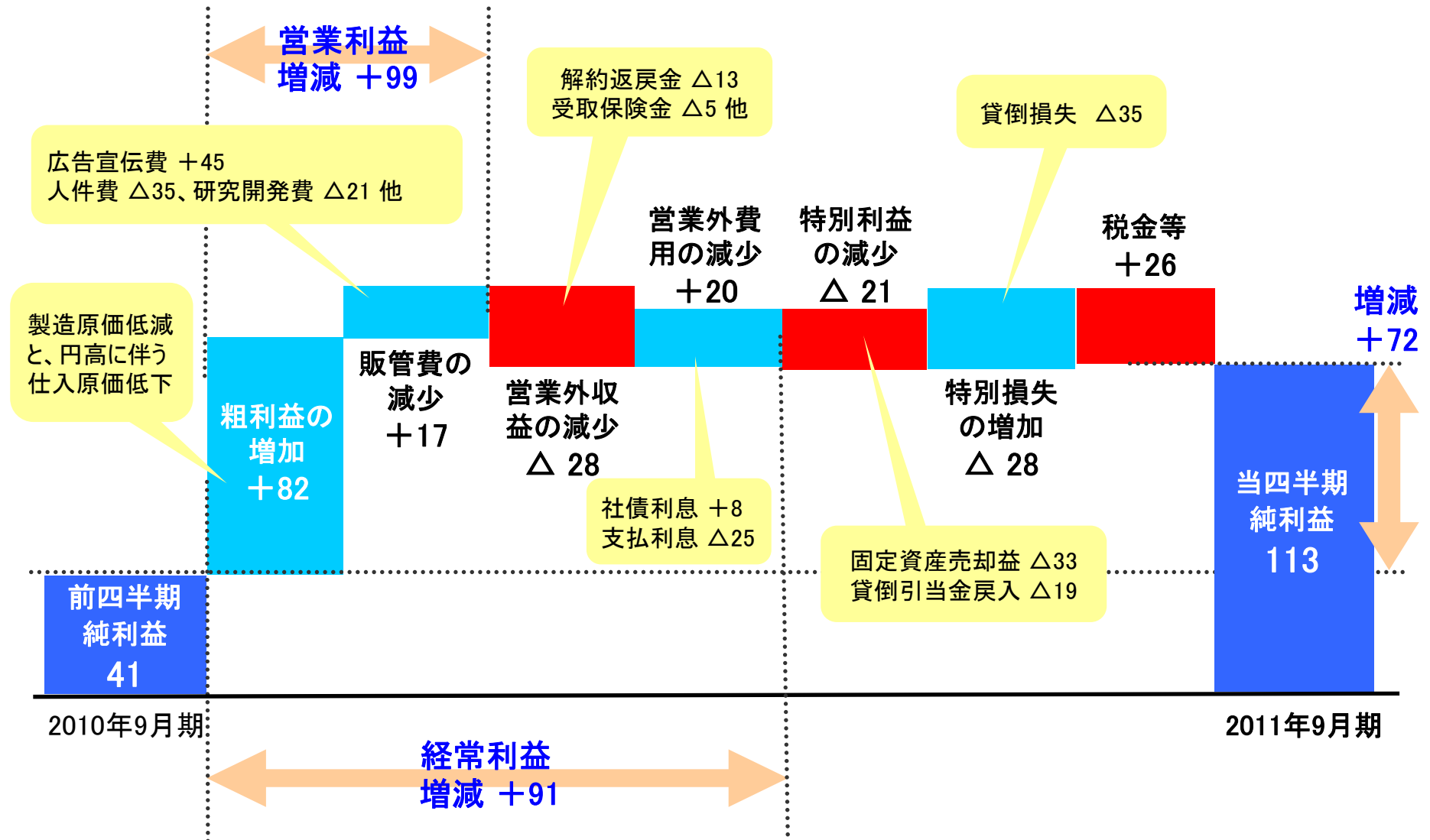
シード ワンデーピュア・ファインシリーズの伸長(25.2%増)で8.8%増

ピュアティモイスト含む一般ケア(40.0%減)や、シードゥソフトケア(51.8%減)が急落

本体卸売部門は前年確保も、子会社小売部門において均一価格販売等の影響で2.6%減

≪利益増減分析≫

(百万円)



≪財務状況推移≫

金額単位:百万円 百万円未満切捨て

	2011年3月期		2011年9月期		前期末比較
	金額	構成比	金額	構成比	
資産の部計	14,792	100.0	14,340	100.0	△ 451
流動資産	5,792	39.1	5,460	38.1	△ 331
うち現預金	999	6.8	702	4.9	△ 296
うちたな卸資産	2,316	15.7	2,227	15.5	△ 89
固定資産	8,999	60.9	8,879	61.9	△ 120
うち有形固定資産	6,953	47.0	6,807	47.5	△ 146
負債の部計	9,267	62.6	8,708	60.7	△ 558
流動負債	4,617	31.2	4,077	28.4	△ 541
うち短期借入金	2,965	20.0	2,525	17.6	△ 441
固定負債	4,649	31.4	4,631	32.3	△ 18
うち長期借入金	1,303	8.8	1,837	12.8	534
うち社債	2,300	15.6	1,700	11.9	△ 600
純資産の部計	5,524	37.4	5,632	39.3	107
負債純資産計	14,792	100.0	14,340	100.0	△ 451

増産および合理化の為に
機械設備購入等で減少

震災影響を考慮した
手元在庫の積み増し等
製品 +261、仕掛品 △514

減価償却 △449
機械設備他 +192
事業用不動産 +91

長期運転資金700借入

前倒し償還実施

《キャッシュ・フロー推移》

金額単位:百万円 百万円未満切捨て

	2010年9月期	2011年9月期	前期末比較
営業活動によるC・F	918	581	△ 337
税金等調整前純利益	20	118	98
減価償却費	461	449	△ 11
たな卸資産の増減額	395	84	△ 311
仕入債務の増減	102	△ 44	△ 147
投資活動によるC・F	26	△ 245	△ 272
有形固定資産取得支出	△ 22	△ 240	△ 217
有形固定資産売却収入	35	—	△ 35
財務活動によるC・F	△ 245	△ 631	△ 386
短期借入金の純増減額	△ 1,151	△ 72	1,224
長期借入金の借入	950	700	△ 250
長期借入金の返済	△ 2,222	△ 534	1,688
社債の発行	2,800	—	△ 2,800
社債の償還	△ 500	△ 600	△ 100
現金及び現金同等物期末残高	1,051	702	△ 348

手元在庫の積み増しや
新製品発売対応

機械設備、事業用
不動産の取得等

トータルで506百万円
の残高が減少

《コンタクトレンズ市場概要》

■コンタクトレンズ装用人口：約1,530万人（2010年） ※矢野経済研究所調べ

■市場規模（メーカー出荷額ベース）：約1,700億円（2010年） ※当社調べ

■日本コンタクトレンズ協会加盟企業：60社（正会員27・賛助会員33） ※2011年12月1日現在

■コンタクトレンズ市場沿革

昭和26年 コンタクトレンズの研究開始・実用化
（1951年）

昭和30年～60年頃 ハード ⇒ ソフト ⇒ 酸素透過性ハード

平成3年 使い捨てレンズ上陸（J&J、ボシュロム） ※1週間連続装用タイプ

平成6年 2週間交換タイプ（J&J）

平成7年 1日使い捨てタイプ（J&J）

平成13年 1ヶ月定期交換タイプ（エイコー）

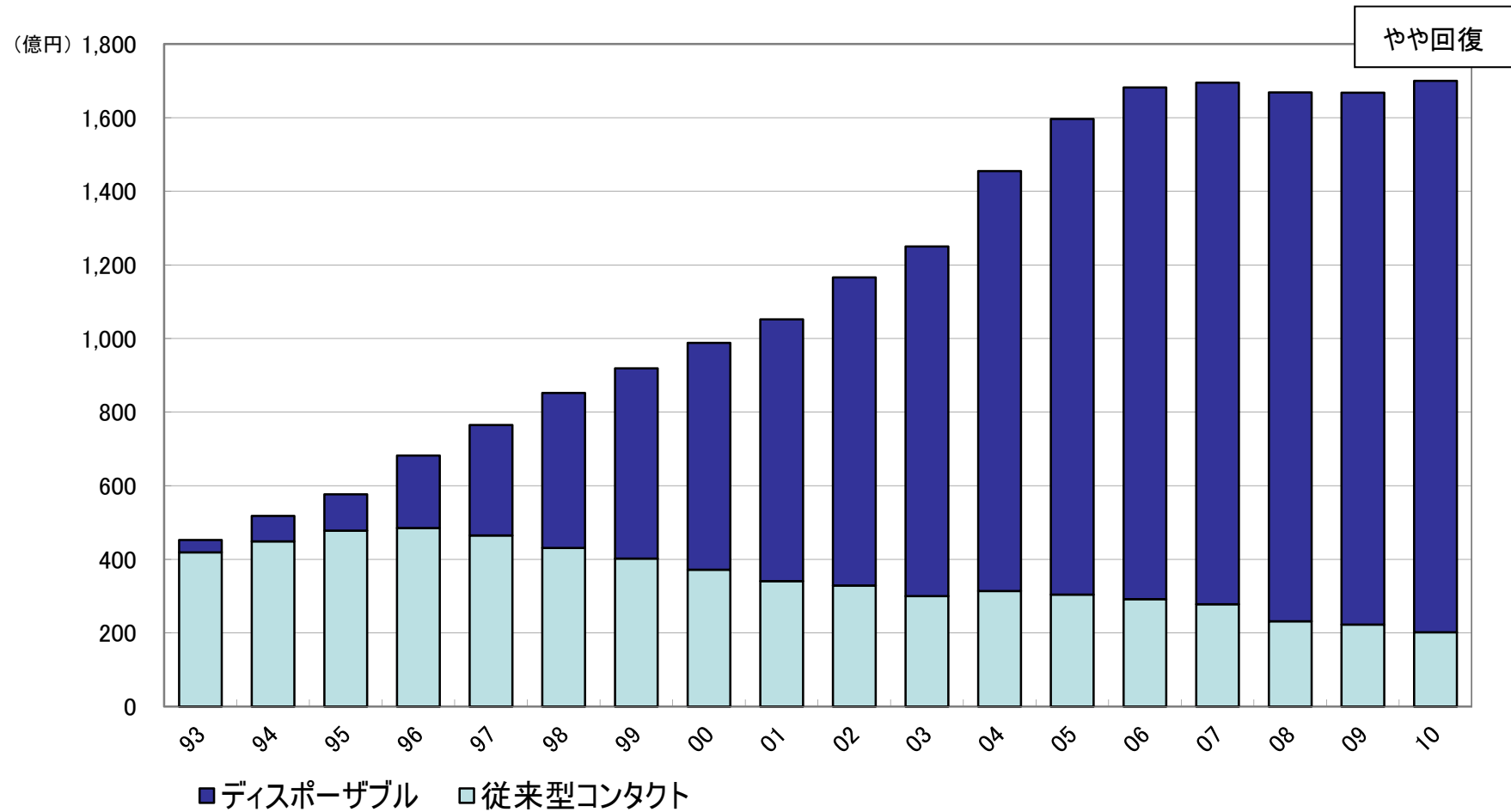
平成15年 モールド製法による製造承認（当社）国内メーカーでは初めて

平成16年 日本初国内一貫生産の 2週間交換タイプ（当社）発売
シリコンハイドロゲル素材レンズ（CIBA）

平成21年 日本初国内一貫生産の1日使い捨てレンズ（当社）発売

《市場規模推移・予測》

◆コンタクトレンズ市場規模推移（メーカー出荷額ベース）

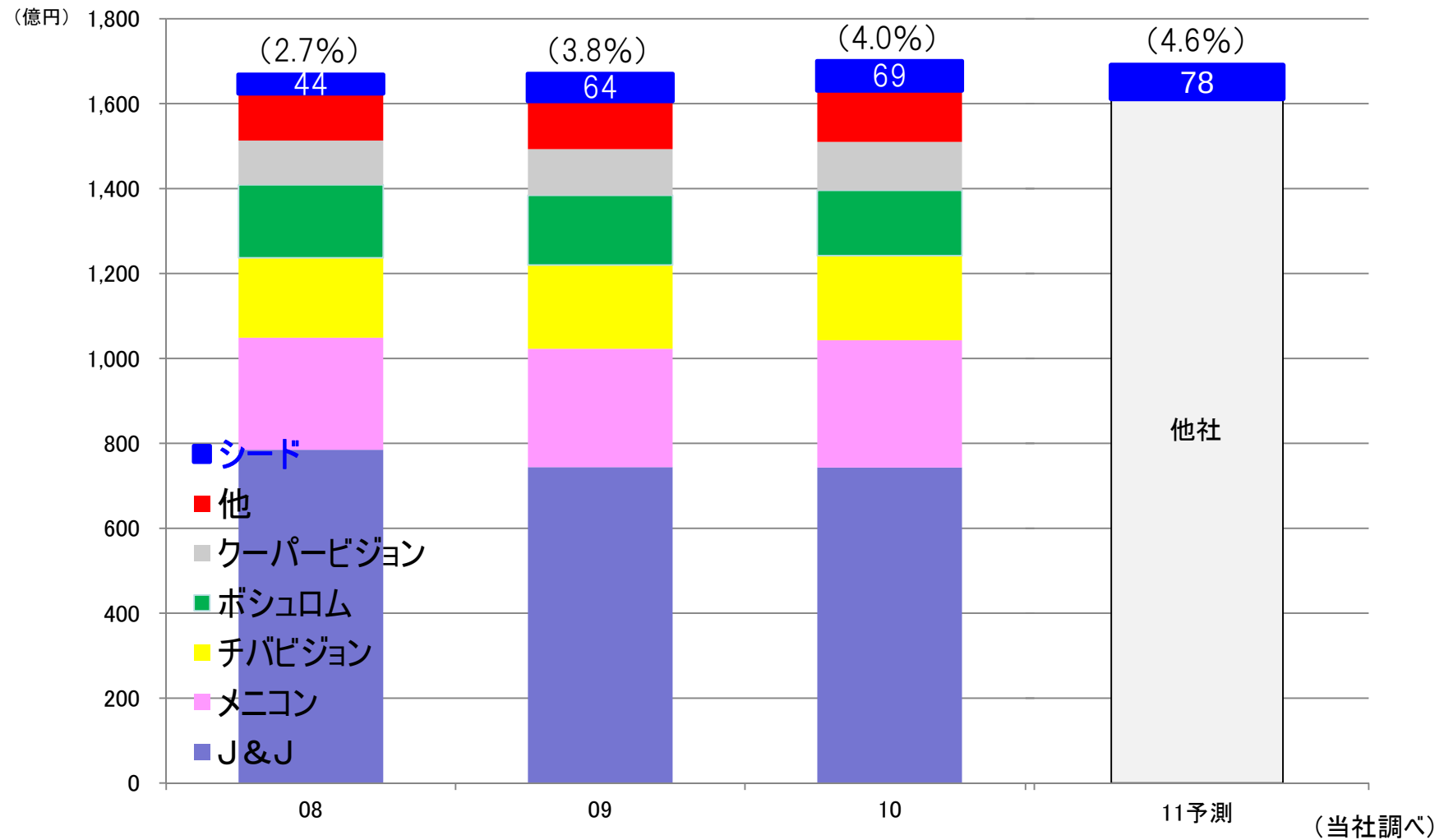


（当社調べ）

《市場規模推移・予測》

◆メーカー別 市場規模推移・予測 (メーカー出荷額ベース)

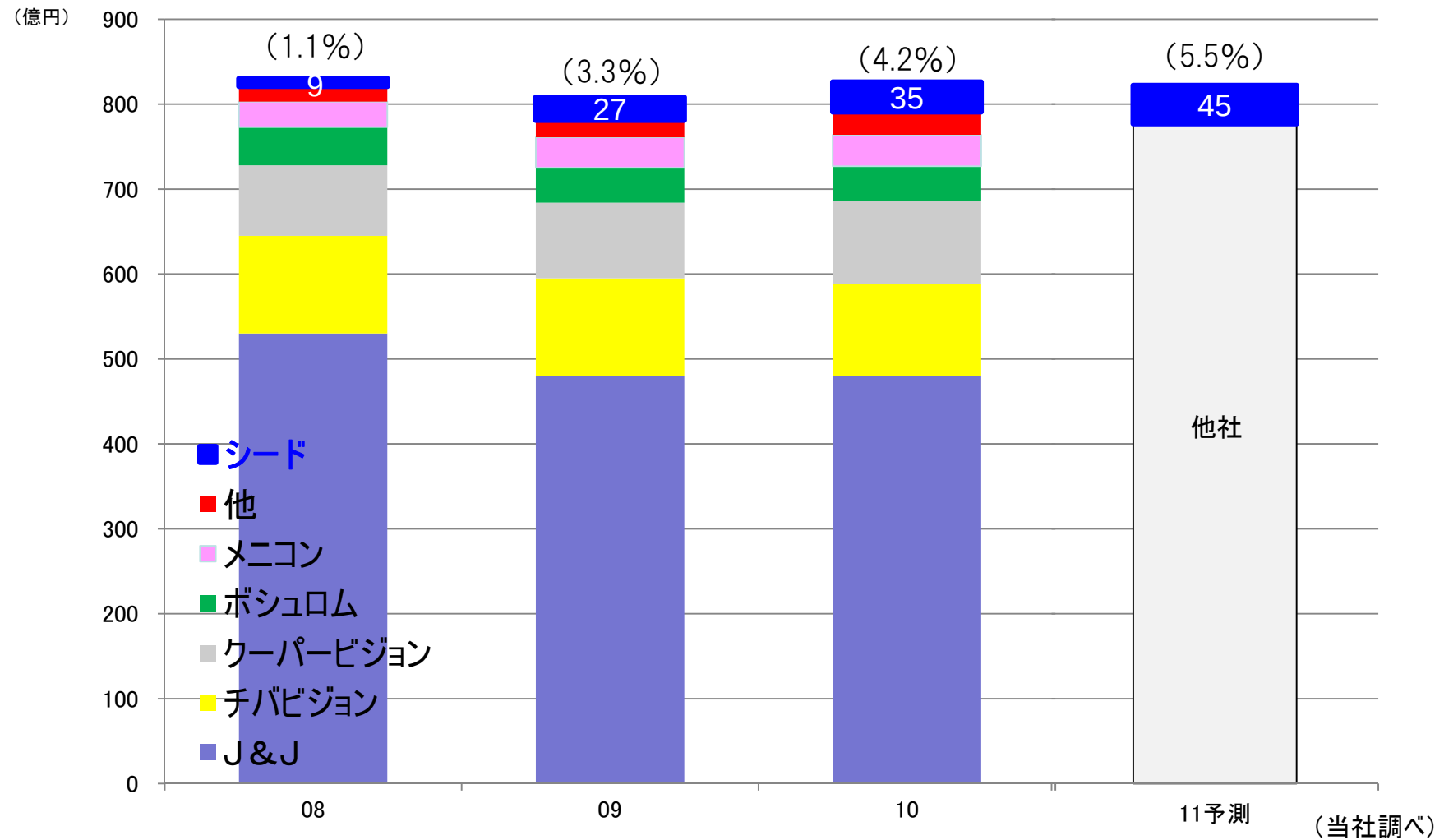
※ () 内はシェア



《市場規模推移・予測》

◆1日使い捨てタイプ 市場規模推移・予測 (メーカー出荷額ベース)

※ () 内はシェア



《2012年3月期通期見通し:ポイント》

- 12月より「シード ワンデーピュアうるおいプラス」投入
- 実瞳(上海)商貿有限公司の商業販売開始
- ファシル社のコンタクトレンズ継承による売上寄与
- 増産と製造工程改善による製造原価低減の継続
- うるおいプラス、遠近両用アイテムの初期導入トライアル
レンズ増加、中国販促費の積み増し可能性有
- 歴史的な円高、タイの洪水、冬期電力事情に係る
消費意欲の沈滞懸念

《通期見通し:概要》

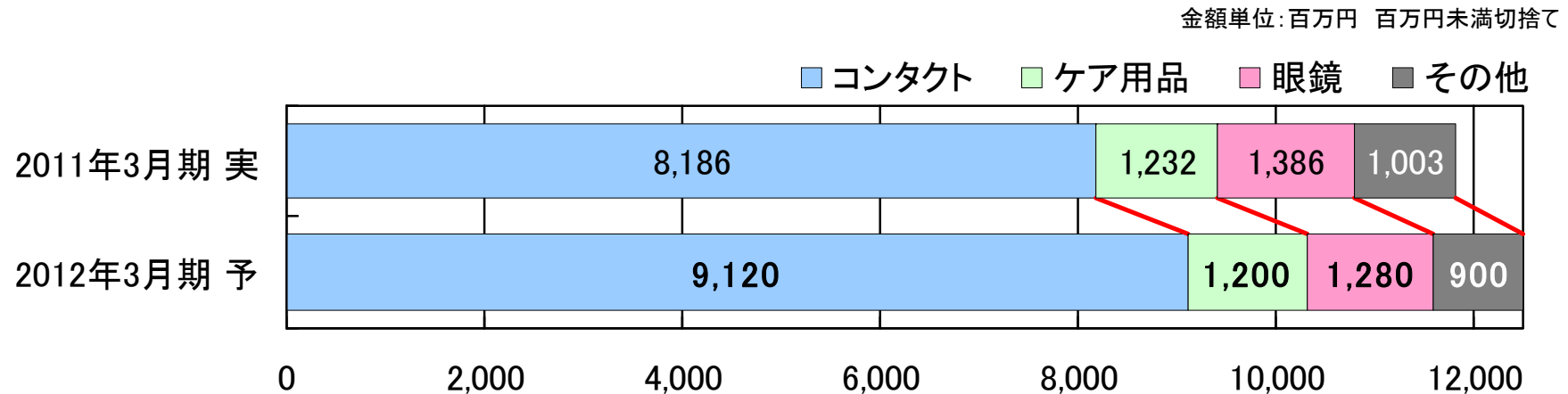
金額単位:百万円 百万円未満切捨て

	2011年3月期	2012年3月期	前期比較	
売上高	11,809	12,500	690	5.8%
営業利益	218	260	41	18.9%
(営業利益率)	1.9%	2.1%	+0.2%	
経常利益	164	200	35	21.9%
当期純利益	114	140	25	21.9%

■ 配当

		2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期(予)
1株当たり配当金	中間	—	—	—
	期末(年間)	5.00円	5.00円	5.00円

《通期見通し分析:売上高》



主力アイテムの性能向上と中国での販売開始に加え個別店舗戦略の徹底でフォロー

●『シード ワンデーピュアうるおいプラス』投入

～柱である「シード ワンデーピュア」に新たにうるおい成分を配合し、バージョンアップ



●中国での商業販売開始

～日系のチェーン店を皮切りに「ファインシリーズ(中国版)」を3タイプ投入。



●上位取引先各々のニーズに沿った戦略提案ときめ細かなフォロー

～上位80社すべての前年対比増を実現すべく、広告宣伝も積極投下

●眼鏡フレーム『ビビッドムーン』、『プラスミックス』

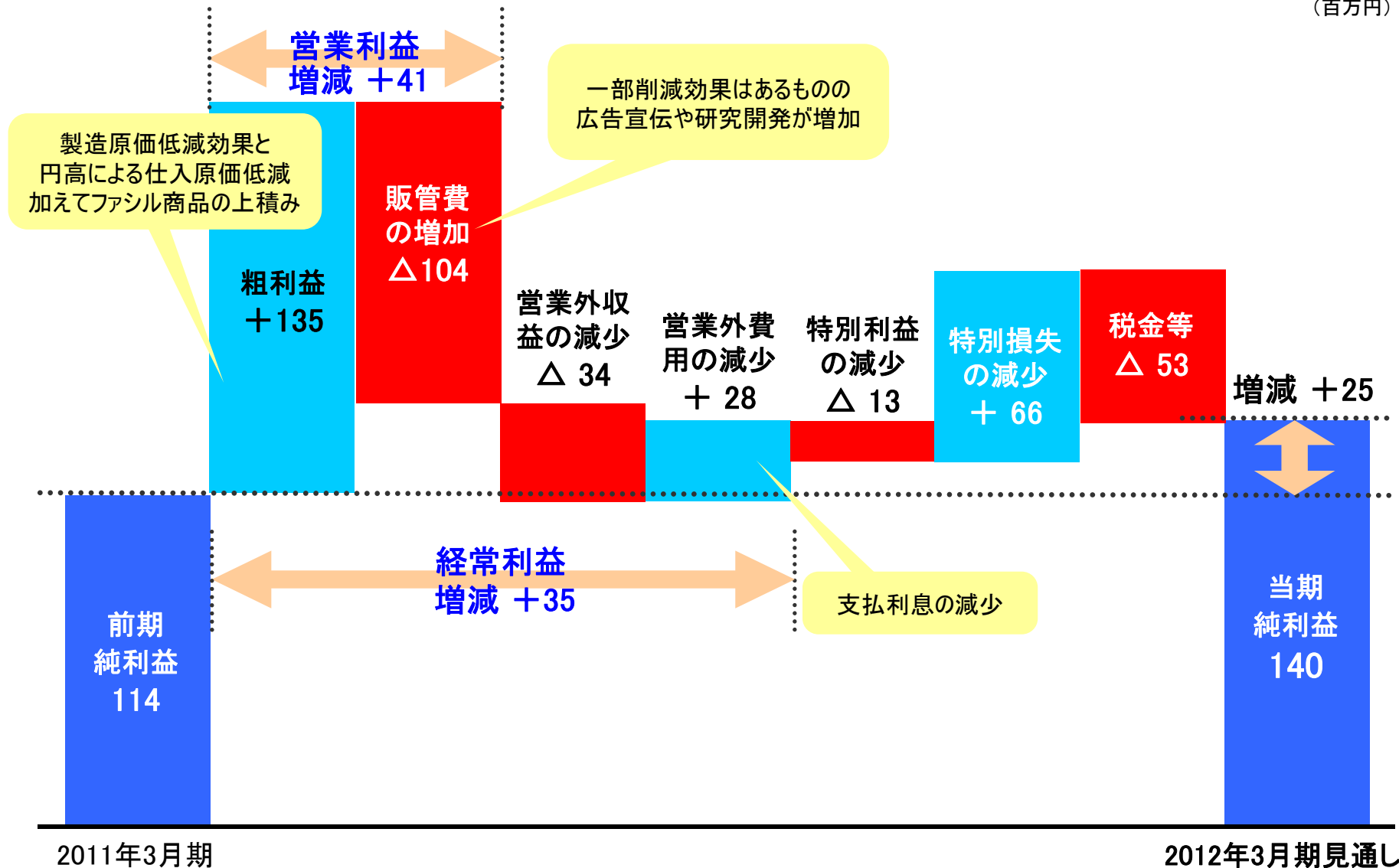
～新作の秋冬モデル投入(プラスミックスは発売10周年)



●シードゥ ソフトケア ピュアの投入 ～高い消毒力を実現した新製品

《通期見通し分析: 利益増減》

(百万円)



《2012年3月期重点施策の進捗》

商品スペックの多様化・遠近両用マーケットの拡大

- ワンデーピュアの製品性能向上 ⇒ 10月前後より投入 ⇒ 一部先行販売経て12月より一斉販売
- ワンデーピュアシリーズの拡充 ⇒ 遠近両用タイプを投入しラインアップ充実 ⇒ 第4四半期
- 新しいコンセプトのコンタクト ⇒ ファッション系のコンタクト ⇒ 来期にずれ込み
- 広告宣伝費の投下と販売店個々のニーズに合わせた販売促進戦略で営業をサポート ⇒ 実施中

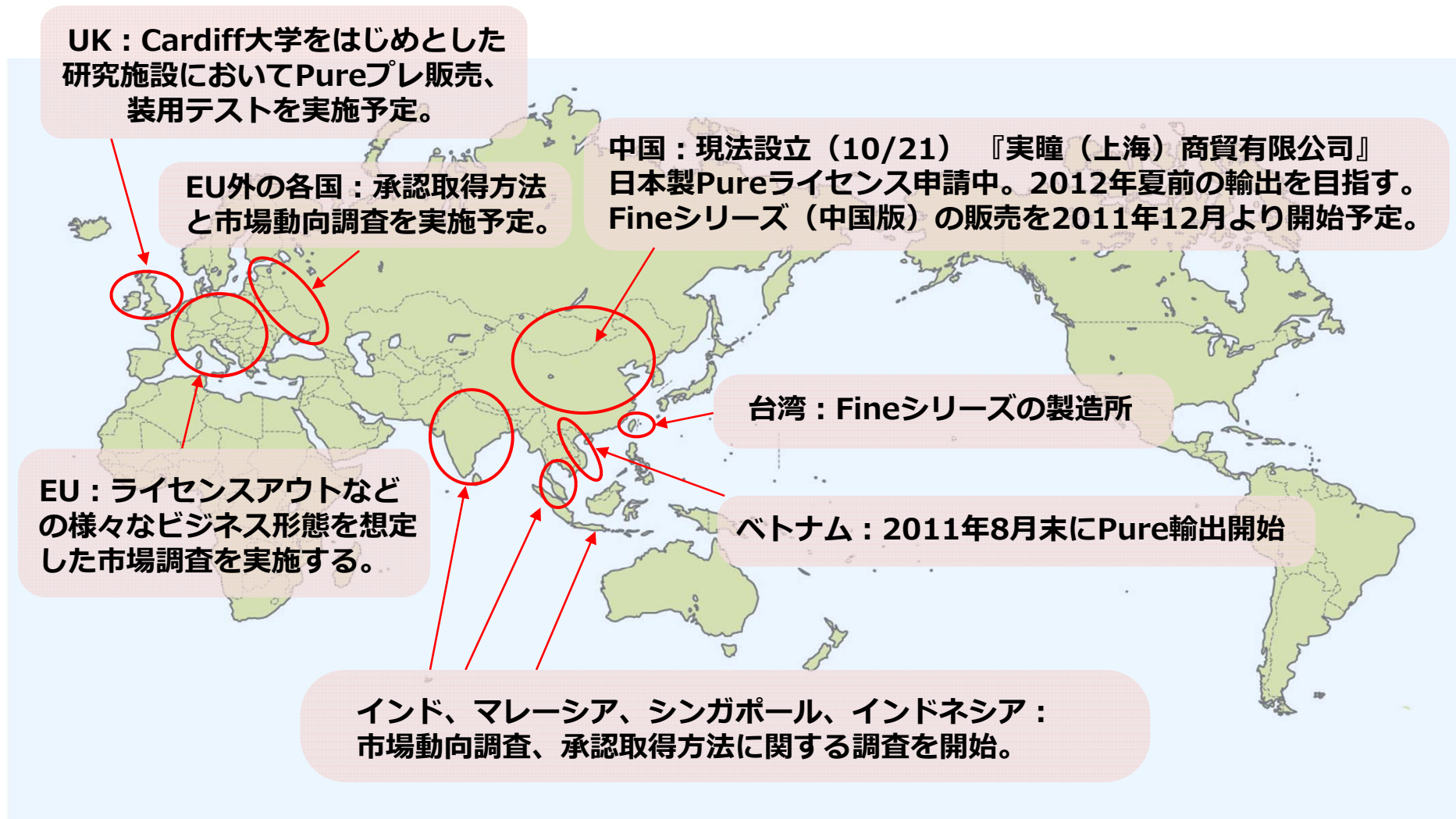
研究開発の強化

- DDS(薬物送達システム)レンズの治験開始 ⇒ 今年度治験開始 ⇒ 海外での承認申請検討
- 強膜リングデバイス ⇒ 継続研究開発中
- シリコーンハイドロゲル素材の開発 ⇒ 継続研究開発中

海外販路開拓の本格化

- 本年1月にISO取得、CEマーキング指令適合
⇒ 7月ベトナムに出荷開始予定。中国(上海)、ベルギーでの現地法人設立準備中で年度内目標
⇒ ベトナム 8月末にピュアシリーズの出荷
⇒ SEED Contact Lens Europe S.A.(ベルギー) 9月27日設立。1月より人員を配置
⇒ 実瞳(上海)商貿有限公司 10月21日設立。12月より日系チェーンを皮切りに商業販売開始

《調査中の輸出対象国》



《長期借入金、社債について》

【長期借入金返済スケジュール】

金額単位: 百万円 百万円未満切捨て

	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
返済予定額	913	1,214	1,125	673	325	161
期末残高	2,855	2,340	1,215	541	216	50

各期において、2～3億の運転資金の借り入れは発生する予定

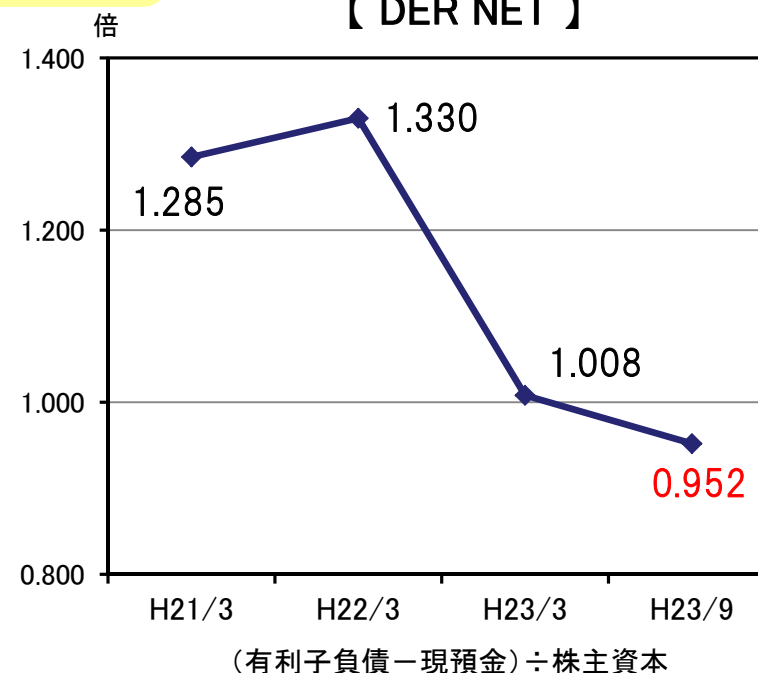
来期稼働に向け、鴻巣研究所の増設・増床開始

【社債(私募債・5年債)】

	2012年3月期	備考
償 還	1,100	2015年7月 償還期限
期末残高	1,700	

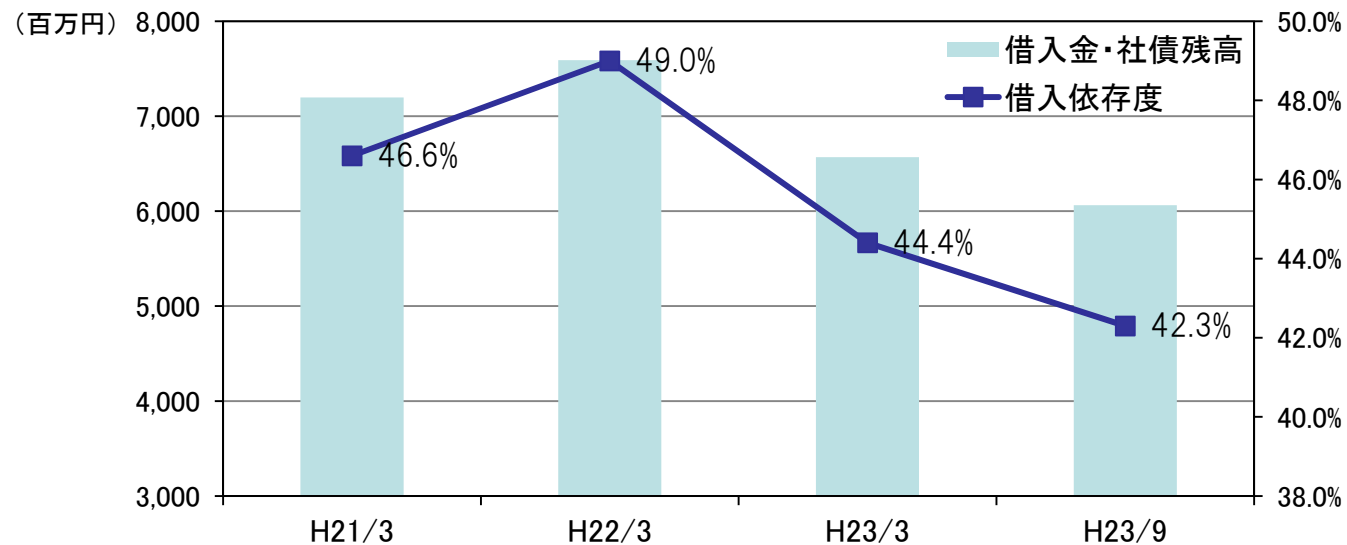
資金状況により、前倒償還を実施

【DER NET】

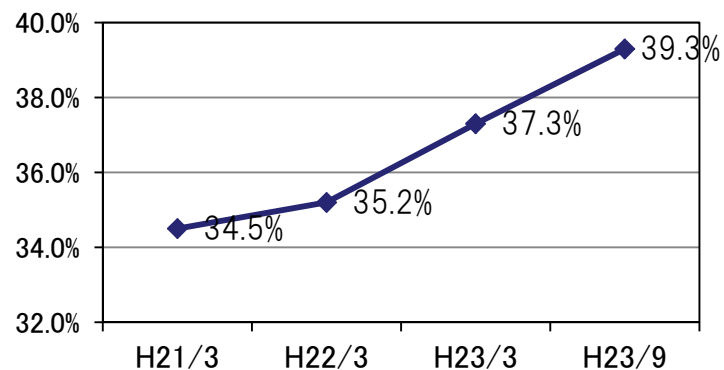


《財務指標の推移》

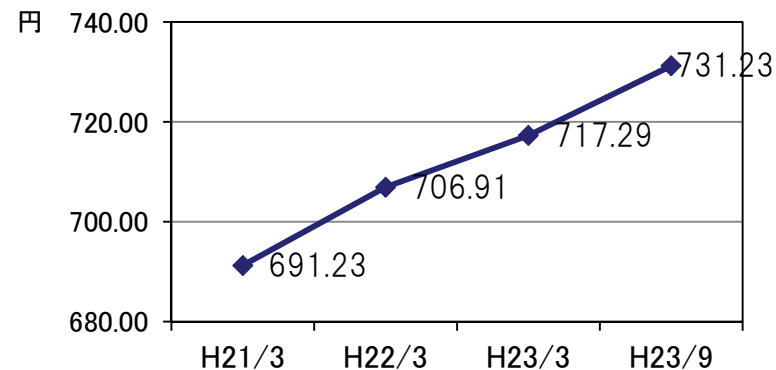
【借入金・社債の推移】



【自己資本比率】



【1株当たり純資産額】



[参考資料]



《会社概要》

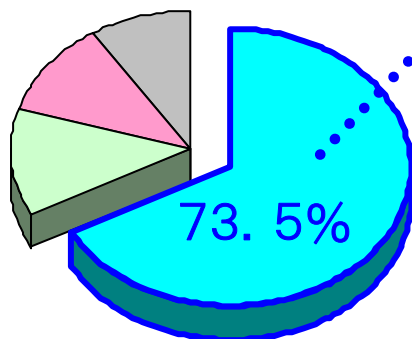
- 本社: 東京都文京区本郷二丁目40番2号
- 設立: 昭和32年10月9日
- 上場: 平成元年12月(1989年12月) 大阪証券取引所 ジャスダック市場
- 資本金: 1,841百万円
- 従業員: 456名(連結)・354名(単体)※平成23年9月末現在
- 営業所: 9(札幌、東京、大阪、福岡 他)、その他駐在10(盛岡、静岡 他)※平成23年12月1日現在
- 工場・研究所: 総合研究所(埼玉県桶川市)、鴻巣研究所(埼玉県鴻巣市)
- 連結子会社: (株)タワービジョン《小売》、(株)シードアイサービス《小売》、(株)新宿タワービジョン《小売》
京都コンタクトレンズ(株) ※現在、休眠中
- 沿革

昭和32年10月 会社設立。商号「(株)東京コンタクトレンズ研究所」
昭和60年11月 ブランド名をマイコンから「シード(SEED)」に変更
昭和62年2月 商号変更。「(株)シード」
平成元年12月 株式の店頭登録。現ジャスダック市場
平成3年11月 桶川研究所(現 総合研究所)を設立
平成5年10月 眼鏡事業参入
平成15年10月 両面モールド製法の製造許認可を取得
平成19年7月 鴻巣研究所を竣工



シード鴻巣研究所

《プロダクト紹介》



(連結売上構成)

コンタクトレンズ

- 1951年にコンタクトレンズの研究を開始して以来、シードのコンタクトレンズ事業における歩みは、日本のコンタクトレンズの進化の歴史
- より安全で高品質な商品をご提供し、時代のニーズにあった商品展開を実現



天然のうるおい
国産1日使い捨てコンタクトレンズ

シード 1dayPure
シード ワンデーピュア
うるおいプラス

純国産の2週間交換コンタクトレンズ

シード 2week Pure

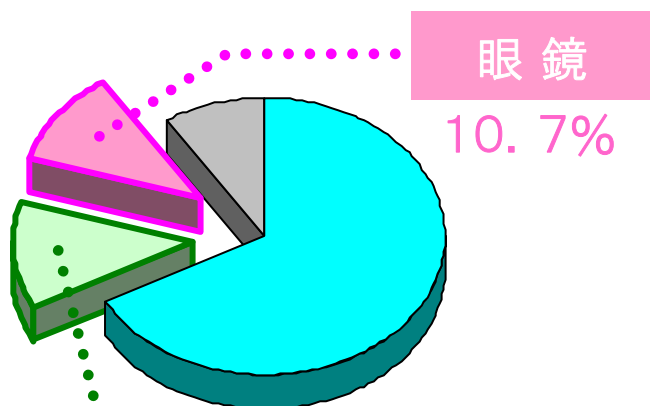


超薄型、UVカット機能付き
1日使い捨てコンタクトレンズ

シード 1day Fine UV



《プロダクト紹介》



(連結売上構成)

●眼鏡レンズ、眼鏡フレームの商材を柱として展開

●眼鏡フレームは、個性豊かな商品をラインアップ
美しさ、自分らしさ、女性らしさを演出する“Vivid Moon”
10代後半～20代のピュアヤングのための「進行形」ブランド“plusmix”
50周年記念の新アイウェアブランド「I SEED」等



- コンタクトレンズケア用品全般
～ハード用、ソフト・2週間・1ヶ月交換コンタクトレンズ
用(MPS・過酸化・こすり洗い用クリーナー)～
- 快適なコンタクトライフをお送りいただけるよう、ケアの啓発
にも力を入れ、安全性と使いやすさを探求



《連結子会社》

(株)タワービジョン(タワーメガネ)

〒340-0115

埼玉県幸手市中3-19-36 手島ビル2F

コンタクトレンズ、ケア用品、眼鏡、携帯電話、
補聴器等の小売

店舗14: 常盤平、野田七光台、我孫子、東金
富里、千葉北、JR佐倉、幸手、加須、
東松山、東大宮、所沢東、宮代、水戸南



(株)新宿タワービジョン(新宿メガネKAN)

〒160-0022

東京都新宿区新宿3-17-5

コンタクトレンズ、ケア用品、
眼鏡、携帯電話、補聴器等
の小売



(株)シードアイサービス



〒113-0033

東京都文京区本郷2-40-4 シード第4ビル4階

コンタクトレンズ、ケア用品、眼鏡等の小売

店舗11: 本郷、有楽町、御茶ノ水、横浜、元住吉
和光、上尾、青森、弘前、仙台、長岡

本資料に関するお問合せ

株式会社シード 経営企画室

TEL 03-3813-1650

又はホームページお問合せフォーム

https://www.seedcontact.jp/seed/fm_ir/

当資料の見込みに関しては、現時点において入手可能な情報及び当社の計画・戦略に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の経済情勢・業界動向等、様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存しての投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。